

学校だより

しらかわ



飯豊町立添川小学校

2021. 5. 14

いきいき なかよく ほこりを持って 第3号

5月の風の中、緑の少年団 学校林活動・実生活動

5月10日（月）、去年、実施できなかった学校林活動がようやくできました。朝方の雨や強風で心配しましたが、気持ちよく晴れて、尾根に囲まれた地形が幸いして風も弱く、絶好の学校林活動日和でした。今回も、森林インストラクター、やまがた森と緑の推進機構の方にご指導いただいて、とても充実した活動ができたと思います。3・4年生はネイチャーゲームを中心に、5・6年生は施肥や間伐、枝打ち等の活動でした。子ども達の生き生きとした活動の様子が、今回も強く印象に残りました。

5月12日（水）、1・2年生が飯豊少年自然の家に行って、実生（みしょう）活動を行いました。実生活動とは、発芽したばかりの種子を採取し、種子から植物を育てる活動です。今回は、自然の家で去年植えたクヌギの苗木の観察や手入れを行うとともに、どんぐりの実生を採取してきました。どんぐりの実生は、しばらくは牛乳パックを鉢にして子ども達が学校で育てます。実生が育った頃、再び植えに行きます。この日もいい天気の中、子ども達は生き生きと活動できました。

なお、この活動に先立って、「いいで緑の少年団運営協議会」が開催され、今年度の事業等についてご協議いただきました。また、添川財産区管理委員会様には、日頃より緑の少年団活動を支えていただいております。また、ご指導いただきました方々、関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、今年度の活動につきましても、どうぞよろしくお願い申し上げます。



3～6年生の学校林活動（枝打ち、施肥、閉会式の様子）



1・2年生の実生活動（苗木の手入れ、実生の採取の様子等）

令和3年度PTA活動 どうぞよろしくお願いたします

- ◆ スローガン 「ひろげよう つながる心 はぐくもう 子ども達の成長を」
- ◆ 具体的な活動 ・立哨とあいさつ運動 ・お手伝い運動 ・親子で読書運動
- ◆ 今年度の役員

＜PTA 事務局＞ 会長：尾形 隆 (敬称略)
副会長：横澤 寧子 横澤 剛
幹事：高橋 智子 石井 豪 小山 秀紀
監事：遠藤 裕樹 山口 陽子

＜学校 PTA 役員＞

学年	学年部長	学年役員	母親委員
1	遠藤 洸太 (研修広報)	安仲 智浩 (環境保体)	遠藤 道子
2	伊藤 友洋 (環境体育)	菅野 友香 (研修広報)	舟山 智美
3	石井 豪 (研修広報)	中村 真代 (環境体育)	遠藤友里恵
4	菊地 智裕 (環境体育)	梅津 大佑 (研修広報)	横澤 清美
5	遠藤 大介 (研修広報)	後藤千佳子 (環境体育)	舩山 恵
6	舟山弥寿彦 (環境体育)	菊地 僚 (研修広報)	伊藤知佳子

卒業実行委員長	鈴木 幸則
---------	-------

＜ミニコラム＞ 子どもの心とことばを育てるために (その13)

可愛がれば可愛がるほどいい子になる

「可愛がりすぎると依頼心が強くなる」とか「自立の妨げになる」とよく言われるが、実は、ちょうどその反対。じゅうぶん可愛がられ、安心させられ、満たされて、内的に充実した子どもほど、外の世界に向かっての積極性が強く育ち、より早くよりはっきりした形をとって親から自立する。そういう子どもの場合には、たとえ親の方で過保護にしようと思っても、子どもはさりと拒否して親のおせっかいから逃れて独り立ちしていく。

逆に、親の可愛がり方がケチケチしていたために安心感の蓄えが十分できず、内的不安を抱えたままの子どもほど、いつまでも親に甘えたい気持ちが抜けず、親からの自立が遅れるばかりか、なかなかはっきりした自立の形をとらない。そういう状態を外から見ると「過保護」に見えるのであり、過保護とは元来そういうものなのである。

「子どもは可愛がれば可愛がるほどいい子になる」というのは、けだし、至言である。

『今、赤ちゃんが危ない～母子密着育児の崩壊～』(田口恒夫著、なすな出版)より今年度も、この「ミニコラム」を継続していきたいと思います。今回は、日本の言語障がい教育の草分け的存在の田口恒夫氏(お茶の水女子大学名誉教授)の著作から引用しました。

なお、昨年度のミニコラムは、添川小のHPに掲載の昨年度の学校だよりで読むことができます。

その1「子どもの心とことばを育てるために」(第5号) その2「子どもにとって安心すること」(第6号)

その3「子どものストレス耐性とは何か」(第7号) その4「自己肯定感、自己有用感について」(第8号)

その5「アイメッセージについて」(第9号) その6「話したことばを受け止め復唱すること」(第11号)

その7「ペアレントトレーニングについて」(第12号) その8「アダルトチルドレンと共依存」(第13号)

その9「思いやりはどうやって育つのか」(第15号) その10「ワーキングメモリーを育む遊び」(第16号)

その11「愛着形成に臨界期はあるか」(第17号) その12「ただひたすら安心させて」(第22号)